



# 7 公共交通を取り巻く問題点、課題／8 目標達成のための施策・事業

## 公共交通が果たすべき役割

1. 地域住民の日常の移動手段を確保
2. 地域の活力を支え、持続可能な地域をつくる
  - ①拠点への移動をスムーズにする
  - ②交流の拡大を支援する
  - ③良好な地域環境を保持する

## 公共交通を取り巻く現状・問題点

### 地域概況・公共交通を取り巻く環境の視点

- コロナ禍により従来のビジネスモデルが成り立たない状態
- 運行／運航の担い手不足
- 運行／運航に係るデータの不足や不十分な活用
- 紙媒体での申請・監査等、デジタル化の対応が不十分
- デジタルトランスフォーメーション関連の取組の進展

### 地域別の視点

- 尾道中部、尾道東部、尾道西部、向島  
自家用車等の利用が多く、幹線機能を持つバス路線が機能を十分に発揮できていない
- 尾道北部、御調、因島北部、因島南部、生口島  
幹線以外で利用できる公共交通が限られており、使いづらい
- 因島北部、因島南部、生口島  
因島や生口島直通便の自動車専用道路走行に伴う課題の存在

### 交通手段別の視点

- 【鉄道】**
- 尾道駅のテナントリニューアルにより、駅の拠点性が増す可能性
- 【バス】**
- 小型車両での運行に障壁が存在する
- 【航路】**
- 船舶の老朽化、メンテナンスの負担増大
  - 住民の減少による行政負担増加の可能性
- 【みつぎ乗合タクシー】**
- 利用者が減少傾向であり、登録者数に対して利用者が少ない
  - 県MaaS事業に採択され、新たな仕組みが検討されている
- 【一般乗用タクシー】**
- 需要が午前中に集中しており、供給能力を超過
  - 一般乗用旅客運送事業の準特定地域に指定されており、新規参入に障壁が存在
  - 中山間地域や島しょ部において事業そのものの持続可能性が低い
- 【その他】**
- 自転車活用の動きが活発化
  - SDGsの観点から地域公共交通の重要性の高まり

**現状・問題点①**  
道路や交通、規制等により、利便性が低下している

**現状・問題点②**  
市として守るべき路線の位置付けが明確になっていない

**現状・問題点③**  
データ整備・活用が十分でなく、業務負担の増大や公共交通の分かりにくさに繋がっている

**現状・問題点④**  
利便性が高い地域でも公共交通利用が少ない

**現状・問題点⑤**  
コロナ禍により経営環境が悪化し、事業存続の危機に直面している

## 公共交通の課題

**課題①**  
市の交通網としての幹線と支線の明確な位置付け

**課題②**  
道路や交通の状況を踏まえた移動手段の見直し

**課題③**  
DXを通じた業務改善、情報発信の強化、連携の深化

**課題④**  
公共交通の利用促進とあらゆる事業の取組による持続可能性の向上

## 基本理念

持続可能なまちづくりを支え、将来にわたって親しまれる地域公共交通

**基本方針①** あらゆる交通手段の連携による持続可能な交通ネットワークの構築

**【目標1-1】**  
持続可能な交通ネットワークの構築に資する支出の確保

評価指標1	公共交通ネットワークの収支率	
	現状値	目標値
陸上	71.3%	71.3%以上
海上	56.3%	56.3%以上

評価指標2	公共交通ネットワークの維持に係る利用者1人あたりの年間行政負担額	
	現状値	目標値
陸上	140.2円/人	140.2円/人以下
海上	168.4円/人	168.4円/人以下

**【目標1-2】**  
交通手段間の連携による利便性の向上

評価指標3	利便性向上に資する事業の取組割合	
	現状値	目標値
	60.0%	100.0%

**基本方針②** 公共交通を知るきっかけづくりと利用する機会の提供

**【目標2】** 公共交通を利用する機会の増加

評価指標4	市民1人あたりの公共交通の年間利用回数	
	現状値	目標値
	53.2回/人	56.2回/人以上

**基本方針③** 公共交通のデジタル化の推進

**【目標3】**  
デジタルトランスフォーメーションの推進

評価指標5	デジタルトランスフォーメーションに資する事業の取組割合	
	現状値	目標値
	66.7%	100.0%

**【施策①】**  
近隣市町への移動も踏まえた公共交通ネットワークの維持・確保

- 事業①-1 役割や移動実態に応じた、路線に対する支援の検討
- 事業①-2 支線部分の利用状況に応じた路線や車両等の見直し
- 事業①-3 生活航路、離島航路の維持
- 事業①-4 運行・運航の担い手確保

**【施策②】** あらゆる交通手段間の連携

- 事業②-1 公共交通に係る情報発信の促進・改善
- 事業②-2 分かりやすいダイヤ設定
- 事業②-3 交通結節点等での待合環境整備
- 事業②-4 交通結節点の複合機能化
- 事業②-5 観光目的での自転車との連携促進

**【施策③】**  
公共交通の周辺・関連領域との連携による事業環境の確保

- 事業③-1 貨客混載等による新たな収益源の獲得
- 事業③-2 医療機関・商業施設等との連携強化による事業の安定化
- 事業③-3 健康づくりやイベント等と連携した公共交通の利用促進
- 事業③-4 市民、観光客それぞれをターゲットとしたMaaSの取組の推進
- 事業③-5 生活交通における観光利用の促進

**【施策④】** 意識啓発による公共交通の利用促進

- 事業④-1 行政機関や事業所等でのモビリティ・マネジメントの推進
- 事業④-2 公共交通の乗り方・使い方教室の実施

**【施策⑤】** 交通行政・取組のデジタル化

- 事業⑤-1 GTFSデータの整備と利活用、オープンデータ化
- 事業⑤-2 キャッシュレス決済、電子チケット等の導入促進
- 事業⑤-3 交通行政におけるDXによる効率化